
オオサンショウウオとイシガメは共存しないのか？

城代玲志・亀崎直樹

700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学動物自然史研究室

Japanese giant salamander, *Andrias japonicus*, and Japanese pond turtle, *Mauremys japonica*, do not coexist?

By Reiji JODAI and Naoki KAMEZAKI

Okayama University of Science, 1-1 Ridai-chou, Kita-ku, Okayama 700-005, Japan

オオサンショウウオ (*Andrias japonicus*) やニホンイシガメ (*Mauremys japonica*) の調査を行っている、しばしばその両者を見かけることがある。岡山理科大学生物地球学部動物自然史研究室が2014年より岡山県や周辺で行っている淡水ガメの調査を行っているが、その記録をさかのぼると、オオサンショウウオがカメ網に捕獲される例がある。そのたびにオオサンショウウオは天然記念物であるため放流されるのだが、そこにイシガメなど淡水ガメが捕獲された例はない。そこで、オオサンショウウオかイシガメのどちらかの捕獲があった記録を抽出したところ、記録地点数は53地点、総罟設置数は235個であった。そのなかからこれら両

種が捕獲された地点は53地点中1地点(1.9%)に過ぎなかった。さらに、同じカメ網に捕獲されたことはまったくなかった。通常、オオサンショウウオとイシガメは生息地が違っており、そのようなことが起きるのではと指摘する向きがあるが、岡山県ではオオサンショウウオは比較的濃密に生息しており、一部、イシガメが生息できるところもあるような気がしている。また、土井(1999)はオオサンショウウオがイシガメを捕食することを報告しており、これがイシガメがオオサンショウウオを避けている理由かもしれない。今後も調査を継続していく予定である。